

平成29年度 北陸地区スポーツ推進委員研修会

大会テーマ 「地域におけるスポーツの未来を創る」

1 期 日 平成29年6月24日（土）～6月25日（日）

2 会 場

1日目（開会式、表彰式、講演、情報交換会）

- ・アイザック小杉文化ホール ラポール（開会式～講演）
- ・高岡地域地場産業センター（情報交換会）

2日目（実技研修）

- ・新湊アイシン軽金属スポーツセンター（ペタンク）
- ・アルビス小杉総合体育センター（エアボールゲーム、事務局研修会）
- ・ヨシダ大島体育館（体操）
- ・下村パークゴルフ場（パークゴルフ）



歓迎アトラクション「越中大島太鼓」

3 開会式

- | | | |
|------------|-------------------------------------------------------|--------------------|
| (1) 開会宣言 | 北陸地区スポーツ推進委員研修会
富山県実行委員会副会長 | 廣 瀬 孝 作 |
| (2) あいさつ | 北陸地区スポーツ推進委員研修会
富山県実行委員会会長
公益社団法人全国スポーツ推進委員連合会長 | 横 田 安 弘
齊 藤 斗志二 |
| (3) 祝 辞 | 富山県総合政策局教育・スポーツ政策監 | 荒 井 克 博 |
| (4) 歓迎のことば | 射水市長 | 夏 野 元 志 |
| (5) 登壇者紹介 | | |



開 会 宣 言



実行委員長あいさつ

4 表彰式

中ブロック表彰

富山県から4名が受賞（合計16名）

宮本 相生 川嶋 一宏 山岡 敏光 大橋 喜美子

北陸地区表彰

富山県から11名が受賞（合計35名）

干場 広光 杉岡 毅 大橋 芳子 中井 宏行
老月 芳子 藤田 英子 村中 幸志 中村 清志
谷 庄作 渡邊 純一 小曲 郁子



代表授与



代表謝辞

5 講演

演 題 「夢が叶う法則」

講 師 有限会社てっぺん 代表取締役 大嶋 啓 介 氏



7割の中学生が「自分には可能性がない」と答えている現状から大嶋氏は、「可能性を気付かせるためには、周りからの後押しが必要。特に、日頃から接する大人（保護者、家族、指導者等）の言動で子どもは変わる」とし、大人の言動によって知らず知らずのうちに子どもの可能性に蓋をしてしまったことを指摘した。

また、大嶋氏は、「子どもが可能性という未来の力に限界を感じてしまうのは、脳が限界と勘違いしてしまうような言葉や経験を積み重ねてきたため」と話し、その原因にはその子に関わる大人によるところが少なからずあることを指摘した上で、大人が子どもの可能性を信じた関わり方を常に考えて接してほしいと説いた。

最後に、高校の野球部でチームづくりに携わってきた経験から大嶋氏は、「夢や目標、可能性を実現させるためには「チームの空気」が重要」と話し、力が発揮できるために欠かせない「強さ（自信）」「リラックス」「集中」「楽しさ」という状態（空気）を作り出す方法である「本気のじゃんけん」をみんなで行った。勝っても負けても本気で喜び合うことで、会場の空気は自信に満ちあふれ、何でもできるという雰囲気を感じさせた。

6 情報交換会



総勢368名(内:富山県137名)の方々が参加し、地域の状況やその他の様々なことについて情報交換し、交流を深めた。

7 実技研修 6月25日(日)

(1) ペタンク (新湊アイシン軽金属スポーツセンター)



全体で基本動作やルールなどの指導法を確認した後、グループに分かれて実際に競技を行った。実際のプレーを通して動作やルール、勝敗の付け方など確認し合ったことで、今後の指導に活かすことができる研修であった。対戦相手よりもビュット(目標物)の近くに投げられた時には、歓声や笑顔が自然と広がるスポーツであった。

(2) エアボールゲーム (アルビス小杉総合体育センター)



平成27年度の富山県スポーツ推進委員研修会で提案されたスポーツで、今回、ネットの高さを120cmとした新しいバージョンが提案された。ネットの高さを高くしたことで、ラリーを楽しむことが十分にでき、二人の息を合わせたり声を掛け合ったりというこのスポーツの良さを一層感じる事ができた。

(3) 事務局研修会（アルビス小杉総合体育センター）



桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部渋谷ゼミの学生から「スポーツ推進委員の効果的な活動方法」に関する提案を聞き、北陸4県の事務局担当者が情報交換を行った。北陸4県でも委員の数、活動の様子が様々なことに驚くとともに、情報交換を通して参考にしたいことや検討したいことなどが分かる時間となった。

(4) 体操（ヨシダ大島体育館）



90分間の研修時間に「シナプソロジー」「エアロビクス」「ストレッチ」の3つの軽運動を経験した。健康づくりの面から需要が高まっている「シナプソロジー」では、「2つのことを同時に」「左右で違う動きを」をキーワードに、慣れない動きに四苦八苦しながらも脳をしっかりと使っていると実感できた。

(5) パークゴルフ（下村パークゴルフ場）



全体で「初心者を対象とした基本動作やルールの指導法」に関する講習を行った後、コースを使った研修を行った。実際のプレーを通してルールや注意事項を確認することができ、今後の指導に活かせる研修であった。何よりパークゴルフの楽しさを実感できたため、参加者は熱心に研修に参加していた。

8 参加者数

● 開会式・表彰式・講演会

富 山	203
石 川	174
福 井	111
新 潟	122
合 計	610

● 実技研修

	ペタンク	エアボール	体操	パークゴルフ	合計
富 山	40	1	62	34	137
石 川	31	60	20	32	143
福 井	6	36	2	19	63
新 潟	6	76	4	20	106
合 計	83	173	88	105	449